

Vol.65

心のふるさと

発行：社会福祉法人 多摩養育園 編集：広報紙編集委員会
〒192-0055 東京都八王子市八木町8-11 TEL 042-623-3388・FAX 042-623-3389
制作・印刷：株式会社 共同印刷所 ホームページ：http://www.tamayouikuen.net/

みんなの「生きる」を
社会福祉法人



SDGs 誰一人も取り残さない世界へ④
子どもを大事に

社会福祉法人 多摩養育園

理事長 足利正哲

富士山

実に 雄大な 日本一の山

コロナとの闘いが続く中

誰もが 除夜の鐘に 祈りを込め

富士山から力を頂き

新年を迎えたことと思います

多摩養育園は 本年創立七十五周年を迎えます

四分の三世紀前 戦後の復興は児童の養育にある と

託児所を始めた創設者

世界の格差 更に コロナ禍 IT社会

子どもたちが 心配です

でも その 子どもたちには 不思議な育つ力がある

未来を担うのは 子ども 世界の子ども

子どもたちを だれ一人取り残さず

もっともっと大事にできるようにしなければならない

本年も 私たちは 全施設が

地域の皆様と共に

福祉の拠点づくりを進めます

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT

GOALS 未来のためにできること③

世界にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を「世界みんなで2030年までに解決しよう」という計画のSDGs。今号は、職員の取組をお伝えします。

みんなで考える「もったいない」



私のSDGs 目標



マイボトルやエコバックを
使用してゴミの削減に努めます

「私のSDGs目標」として個人目標をそれぞれの職員が決め、一人一人ができることから行動しています。

身近なことから始めるSDGs



水分補給のため、自宅からマイボトルを持参。無駄なペットボトルを買わない、メモ用紙は裏紙を使用する等身近な事から取組んでいます。



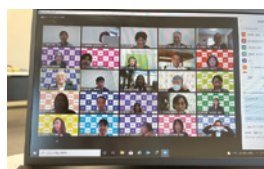
自転車通勤でSDGs

CO2削減を意識し、一念発起で自転車通勤に変更。環境にやさしいだけでなく健康にもなり一石二鳥！

多摩養育園
福祉なんでも相談

地域懇談会開催 〈テーマ：福祉なんでも相談に期待すること〉

地域住民の生活の実情を教えていただくとともに「地域に様々な相談窓口があるのは良いことだ」「もっと地域に出てPRをしてはどうか」など、ご意見をいただき、地域の皆様の思いを知る機会になりました。



民生委員、生活自立支援課、社会福祉協議会職員、地域の皆様が参加



ゲートキーパー勉強会

ゲートキーパーとは、悩みを持つ人にいつでも門を開いて心に寄り添う人のことをいいます。八王子保健所より、講師をお迎えし、自殺予防の観点から、勉強会を実施。相談対応への心構えや基礎知識等について、学んだ。

地域の大きな家

光明塾・光明保育園同窓会
共催イベント

光明塾開塾式（10/25）
青空ヨガや小宮公園散策を開催



次回：八王子七福神めぐり(1/27)

子ども達から
プレゼント

園児の華道作品を
地域の方へお届け。



オンラインミニ保育所体験

未就園児家庭と保育園児が、オンラインで交流。様々な保育を体験。



ありがとうボランティアさん

多摩特と第七保育園で開拓した「みんなのもり」で地域の方が活躍。季節ごとにトマトやブロッコリーなどの野菜を育て、命の大切さや、収穫の喜びを子ども達に。





コロナ禍での 福祉まつり 2021 を開催



今年で13回目となる多摩養育園福祉まつり。「コロナ禍こそ つなげよう 地域の笑顔」をテーマに実施。各拠点において感染防止対策を講じながら、開催したイベントは327名の方々が参加。近隣自治会、地域、後援会の方々のご協力により制作した動画を配信、4,205回の再生数を記録し、多数の方にご視聴いただきました。

各拠点でのイベント“福祉まつり週間” 11月1日(月)～12日(金)



“動画で楽しむ福祉まつり” 11月13日(土)～30日(火)



開会式・N ゲージ寄贈

多摩養育園福祉大使からの贈り物

地域エンタメショー



コロナに負けるなごちゃまぜ企画



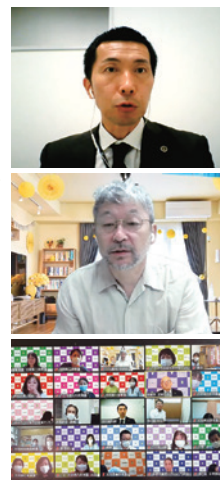
職員の得意な事を披露

各拠点にて、フードドライブと募金を実施、募金総額28,615円は八王子市社会福祉協議会に送金致しました。たくさんのご協力ありがとうございました。

トピックス

人権擁護委員会開催

9月29日



SNS やコロナ禍においての新たな配慮など人権に対する学びを深めた

ひかりの子どもの運動会

9月・10月



檜の里開設70周年

10月26日



ト山禅師396回忌法要

10月26日



光友会：職員親睦行事

10月・11月



リモートビンゴ大会



高尾山登山

八王子車人形鑑賞

10月・11月



光明保育園全園を巡回公演

創設者生誕107年

11月15日



勤労感謝の日

11月23日



ひまわりの種を福島へ

11月



原発事故の土壌汚染により育てられなくなったひまわりを各地で育て、種を送り返すというひまわりプロジェクト。各拠点、大輪の花を咲かせ、収穫した種は2.6キロに。

ひかりの子どもの遊戯会

12月



成道会：針供養

12月8日



赤い羽根共同募金報告

赤い羽根共同募金総額155,667円を東京都募金会・社会福祉協議会へ。皆様のご協力ありがとうございました。



光明の保育「やりたい」が「できた」になるまで

やらされるのではなく、やりたいと思えるように。「明日はこれをやろう！」毎日、目的をもって保育園に来られるように。自分で「やりたい」と思ったことだから。出来なくても、何度も挑戦。すぐに教えるのではなく、急がすのではなく。私たちは、子どもの自立的な「育ち」を見守り、支える。それが私たち光明の保育です。

あきらめない！

「できるようにしたい！」「自分でやりたい！」という思い。自立心は、成功体験の積み重ねや、失敗を乗り越えた経験が自信に繋がり、少しずつ育っていく。できた時の子ども達の笑顔は、最高に輝いている。

コロナ禍でもできること…



子ども達の日常を変えたコロナウィルス。食事の様子もがらりと変わり、テーブルには、パーティション。子ども達も、会話を控え、表情や身振り手振りでコミュニケーション。出来るだけいつも通りのスタイルで食事を楽しめるように、みんなで工夫する。

その人らしい人生を送れる家

心もぽかぽか 芋煮会

気持ちの良い秋晴れの日。榎の里では芝生の中庭で芋煮会を開催。大きな鍋の周りをぐるりと入居者様の椅子が囲い、ぽかぽかの湯気で、心もなんだか温まり会話も弾みます。芋は畑で収穫したさつま芋、味は、福島県の味噌仕立て。「外で食べる芋煮は、格別だねえ。」「もう一杯、もらおうかな・・・」

郷土の味を楽しみながら、東北出身の方はもちろん、そうでない方も、思わず故郷の懐かしい話に花が咲き、笑顔がこぼれる。榎の里の広い芝生の奥では、隣接する光明第二保育園の園児が、元気に遊び、その姿を、目を細め眺める入居者様。そんな心温まるひとときに、私たちもそっと寄り添います。



健康の豆知識

廃用性関節拘縮

関節の動く範囲が狭くなる。しかも、身体を動かさないことにより引き起こされるものを廃用性関節拘縮と言います。①和式トイレでしゃがんで後ろに倒れそうになった②畳にあおむけに寝ると膝や肩が浮いている③寝返りや起き上がりしがしづらくなった④立ったまま靴が履けなくなった。①②③④のいずれか当てはまることがある方は要注意！廃用性の関節拘縮は運動不足や生活習慣が原因であることが多いので、無理のない範囲でストレッチなどを試してみましょう。



介護予防体操はこちら

連載

八王子の名僧

ト山ぼくざん ②②

『番外最終編』

最後に、ト山さまの精神を継承する問題です。その心をよみがえらせるにはどうしたらよいのか考えます。



ト山の月命日にお経をあげて、ご冥福を祈る。この法要がすなわち、ト山の心の甦生です。これに参加した人々は、心がめざめて、人生が活発になります。ト山の思いをわがものとするのです。それは仏教の行道、回向実践です。このような死者の精神の復活について、哲学的に考えた人が、二十世紀ヨーロッパにもいました。わたしたちの行っている回向に、とても励みになる考えです。それは、ドイツの哲学者カール・ヤスパース（一八八三～一九六九）の言葉です。

「わたしたちの生のまっただ中に、死者の精神の叫び、思いを再びよみがえらせること。それがわたしたちに深い生を与えてくれる」（心が深くてがやされて、精神が過去に、未来へとつながるのです）

ト山は『遺誠』の最後に、「仏祖の教えを学んで、怠るなかれ」たのむ、たのむ、たのむと叫んで、弟子たちに大きな期待を寄せました。ト山は百十四歳の時、將軍秀忠公により江戸城に招かれましたが病を理由にお断りになりました。

ト山さまは、お寺にご荣誉とごほうびをいただくよりも檀家の人々が心清くあるほうがよかったです。ト山さまは、このように野菊の如き、気高い人柄だったのです。

文 AM 生

心のふるさと44号（平成27年4月）より、22回に渡る連載の「八王子の名僧ト山」は、今号で最終回となります。ト山禅師を深く研究されている筆者ペンネームAM生様、長い間ありがとうございました。



雲龍寺ト山像

これまでの連載
はこちらから

多摩特・竹の里改修工事進捗状況

現在、外壁や、屋上の防水工事も順調に進行中。多摩特は、玄関や浴室を、竹の里樹林は、2人部屋からプライベート空間を大切にした個室風にリニューアルされます。



多摩特施設名称変更 お楽しみに！

新入職員

輝く姿 ②



新入職員より

夢であった保育士。希望を抱く中で不安も抱えていました。しかし純粋で無邪気な子ども達と一緒に過ごす中で、子どもたちの成長に気付くことができ、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

働く仲間を大募集！

WEBにて就職説明会を毎月開催中。多摩養育園で働きませんか。友達と一緒に参加してもOK。お待ちしています。



応募はこちらから

題字・表紙写真 足利正哲

編集後記

コロナ禍で迎える2度目のお正月。世の中も私たちも、去年とは心構えや備えなどだいぶ進んだように感じられます。オンラインとも上手に付き合ひながら、アフターコロナの新たな連携を模索していきたいと思います。

広報紙編集委員会